

南区の市民活動・生涯学習事業

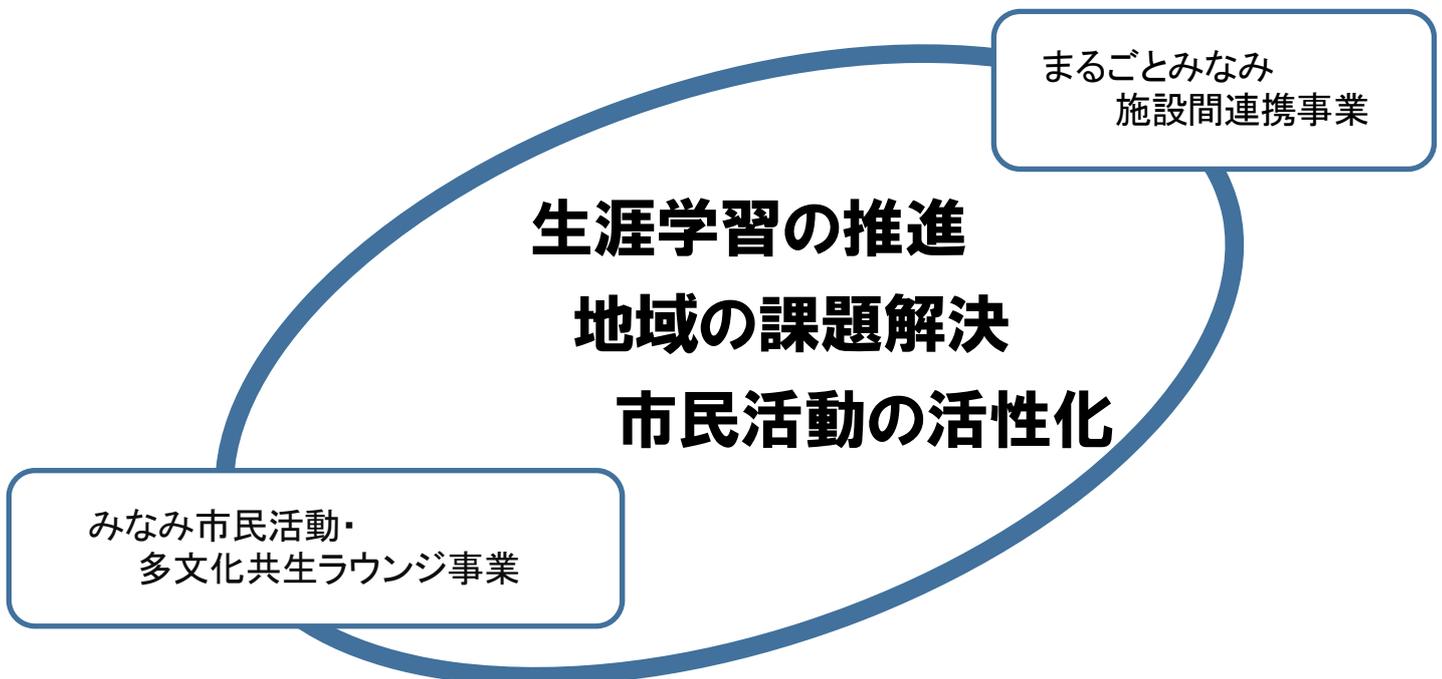
南区の市民活動・生涯学習事業

—生涯学習について—

一人ひとりが、いきいきと心豊かな人生を送るために、興味・関心のあることを、自分に合った時・場所・機会・方法で、生涯にわたって学習すること、これが生涯学習です。

人生100年時代といわれる今日、横浜市では「個性と多様性が尊重され、すべての世代が希望を持って、いきいきと豊かな暮らしができる、創造力にあふれた社会」を目指しています。

そこで南区では、「何かを始めたい」「学びたい」「もっとたくさんの人といろいろな活動をしたい」とする区民の皆さんを応援することを目的に、「みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ事業」「まるごとみなみ施設間連携事業」を推進しています。



みなみ市民活動・多文化共生 ラウンジ事業

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ（みなみラウンジ）



〒232-0024

横浜市南区浦舟町 3-46

浦舟複合福祉施設 10 階

日本語受付 TEL 045-232-9544

外国語受付 TEL 045-242-0888

月～金曜日：午前 9 時～午後 9 時

土・日曜・祝日：午前 9 時～午後 5 時

休館日：第 3 月曜日、年末年始

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジとは

市民活動支援センターと国際交流ラウンジが一体となった施設です。市民活動支援、生涯学習支援並びに外国人支援等を行っています。

情報提供、相談およびコーディネートや市民活動のための講座や活動の場の提供をしています。また、国際交流拠点として、外国人市民のための生活相談や情報提供、多文化共生ボランティアの登録・派遣・活動支援なども行っています。

□市民活動・生涯学習支援

- さまざまな分野の学習、市民活動に関する相談や情報の提供
- 研修室、作業室など、活動の場の提供
- 印刷機、展示コーナーなどの利用、機材の貸し出し
- 人材バンク「街の先生」事業（登録・紹介・研修など）
- グループ、サークル支援（紹介・PR など）

□外国人支援

- 外国人市民に対する生活相談、情報の提供（多言語対応）
- 外国人支援に関わるボランティアの活動支援
- 外国人支援ボランティアの登録と派遣
- 外国人支援を行う市民活動団体との連携



街の先生の活動

街の先生とは、様々な知識や技術・特技・経験を活かして、講座やイベント等で特技や技術を披露したり、教えたりするボランティアの方です。

登録人数 100人 (令和5年3月現在)

<街の先生の活動事例>

●ラウンジまつり～みんなの「わっ！」フェスタ ワークショップ開催

主に新しく登録した街の先生が、他の市民活動団体の数グループと共に、みんなの「わっ！」フェスタで、ワークショップを開催しました。

- ・実施日 11月20日(日)
- ・場 所 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・来館者数 93人

	体験講座名	講師	時間	参加人数
1	バランスボールで楽しいエクササイズ	大野邦子さん	11:30~12:30	10人
2	好きな絵柄を焼きつける食器作り	深谷住江さん	13:30~14:30	15人
3	紙芝居体験	たちつて☆トミーさん	15:00~16:00	10人

●みなみ桜まつり 出展

南区のみなみ桜まつりのみなみラウンジブースで、街の先生たちによるミニワークショップが開催される予定でしたが、両日とも雨天のため中止となりました。

- ・実施日 3月25日(土) 26日(日)
- ・場 所 蒔田公園

	日にち	体験講座名	講師
1	3/25(土)	・バルーンアート ・フェイス&ハンドペイント	白岩秀勝さん 加藤幸子さん
2	3/26(日)	・心晴れ晴れお悩み解消! 数秘体験 ・奇楽人 YUKI の青空マジック	新貴代さん 金井幸臣さん

地域活動・市民活動支援事業「市民活動支援講座」

市民活動の活性化を目的に、活動に役立つ講座を実施し、市民活動の支援を行っています。今年度はコロナ禍でも活動を続けられる手法の一つとして、オンライン講座の開催について学びました。

●「Zoom ミーティングを主催してみよう！」

- ・日 時 令和4年9月13日、9月27日（火）15時～17時
- ・会 場 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・参加者 【第1回】 15 人
【第2回】 13 人
- ・内 容 【第1回】 基本編
 1. オンライン会議とは
 2. オンライン会議の設備環境
 3. Zoom アカウント作成
 4. Zoom 初期設定
 5. Zoom ミーティング参加
 6. Zoom ミーティング主催【第2回】 応用編
 1. Zoom 主催者の操作 様々な機能を学ぶ
(共同ホストの設定、参加者のマイク設定確認、スポットライト
ブレイクアウトルームの設定、チャット内容の自動保存の確認)
 2. グループで Zoom ホスト作業練習
 3. 持っておくと便利な機材紹介

<参加者の声>

- ・参加者側だけだったので、ホスト側として開催できるように参加しました。
- ・グループディスカッション（ブレイクアウトルーム）の使い方役立ちます。
- ・想像していたよりも沢山の機能、設定がある事を知ることができ、大変勉強になりました。ありがとうございました・打ち合わせや講座を主催するとなったときに、見返しながら活かすことが出来そうです、ありがとうございます。



Zoomミーティングを主催してみよう！

全2回：①基本編 9月13日（火）14時～15時30分
②応用編 9月27日（火）14時～15時30分

オンラインを取り入れたセミナーを開催することが増えてきました。
Zoomを使ったオンライン会議を始める前に、押さえておくべき
ポイントを学んでみませんか。

■日程

- ①基本編 9月13日（火）14時～15時30分
内容：Zoomを主催するための基本操作や
注意点等を紹介
- ②応用編 9月27日（火）14時～15時30分
内容：Zoomのさまざまな機能を紹介

■場所

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
（横浜市南区浦舟町3-46・浦舟総合施設10階）

最寄り駅：横浜市営地下鉄ブルーライン「阪東橋」駅4番出口徒歩5分

■持ち物

基本編および応用編ともに、Zoomをインストール済みのノートパソコン
またはタブレット、イヤホンまたはヘッドセットを当日持参してください。

講師

PromoVision 代表 山本 早苗さん

撮影、動画制作、Web
制作等による販促支援、
ITツール活用した業務効
率化の提案およびオンライ
ン会議、セミナー配信など
コロナ禍でも非対面で事
業促進するためアドバイス
を行っています。



【講座の申し込みについて】

- 対象：市民活動をしているZoom経験者
 - 人数：15人（抽選）
 - 参加費：無料
 - 申し込み方法： [メール] minami-kouza@yoke.or.jp
[電話] 045-232-9544 [FAX] 045-242-0897 のいずれか。
* 以下5点を記入し、お申し込みください。
①氏名 ②連絡先（メールアドレス&電話） ③活動分野
④今回の講座で学びたいこと ⑤質問したいこと
 - 申込締切日：2022年8月31日（必着）まで
- ※ お預かりした個人情報は、当講座に連絡のみに使用させていただきます。

問合せ：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ（担当：板倉/朝比奈）

電話：045-232-9544 FAX：045-242-0897

地域活動・市民活動支援事業「地域課題講座」

地域が直面する地域課題の解決につなげるための講座を開催しています。

今年度は、南区の地形や特性や災害のリスク、自助・共助の取り組みを学び、地域において、発災時にどのような行動をするべきかを学びました。

●地域課題解決講座「地域防災の達人 養成講座」

- ・日 時 12月7日、14日、21日（水）（全3回） 14時～15時
- ・会 場 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・参加者 12月7日 14人
14日 9人
21日 12人



災害図上訓練「DIG」

講座内容

	題名	内容	講師
1	南区の災害リスクと正しい避難方法	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な事例を踏まえながら、危機(リスク)に対する理解を深める。 ・気象予測の精度を考える ・インターネットでハザードマップを確認しよう 	講師：南消防署 総務・予防課 予防係長 折戸卓也 氏 講師：南区総務課 危機管理・地域 防災担当係長 高橋円佳 氏
2	過去の災害から学び、自らの備えと地域防災を考える	防災に対する関心を高めるには 避難はどこにする？ 地域防災拠点 気象情報について知る 地震と風水害の違い	講師：南区総務課 危機 管理・地域防災担当係長 高橋円佳 氏
3	大地震をシミュレーションしよう！～地域の安全を守る～	災害図上訓練「DIG」 講座参加者各自が地図を使い、避難路を考える訓練を行う。大地震をシミュレーションして、意見交換し、自分の住む地域を理解する。 災害用伝言ダイヤル 171	講師：南区総務課 危機 管理・地域防災担当係長 高橋円佳 氏

<参加者の声>

- ・東日本大震災を宮城で被災し、その経験から、防災、減災には意識しているつもりでしたが、講師の方から最新のアプリや防災情報を聞くことができ、また、自分より意識高い参加者の皆様の話を聞く良い機会となりました。市区町村で防災マップの表示が違うことを改めて確認できました。地震などの災害が起きる時は防災の意欲が高まるが、時とともに薄れるので、定期的にこのような講座を設けていただけると嬉しいです。

- ・天変地異、感染症、過失事故など、ふいに見舞われる非常事態について考えなくてはならないと思います。

まず、日常生活において向こう3軒両隣で会話をかわして、気持ちを深めていく。備えを常に心掛けて、いつでも避難できる状態を準備して行くことが必要だと思いました。

常に「～どうする」ことを考え、「安心、安全」をどうしたら維持できるかを心に持つとともに、飲料、水、トイレの確保をどうするかをつくづく考えさせられました。マニュアル本と懐中電灯を常に携帯し、もっと防災のことを深く勉強しなくてはいけないと思いました。



2022年度南区
地域課題講座

地域防災の達人 養成講座



災害に対する正しい理解と知識を身に付け、自身や家族を守り、
地域の防災を先導する力につなげます！

2022年12月7日(水)・12月14日(水)・12月21日(水) 全3回
(14:00~15:30) (14:00~15:30) (14:00~15:30)

開催場所：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
募集人数：15人(先着順)

講
師

南区総務課 危機管理・地域防災担当係長	たかはし まどか 高橋 円佳 氏
南消防署 総務・予防課 予防係長	おりと たくや 折戸 卓也 氏

終了された方には
「防災講座修了証」を
お渡します。

第1回

●12月7日(水) 14:00~15:30
「南区の災害リスクと正しい避難方法」

第2回

●12月14日(水) 14:00~15:30
「過去の災害から学び、自らの備えと地域防災を考える」

第3回

●12月21日(水) 14:00~15:30
「大地震をシミュレーションしよう！～地域の安全を守る～」

講座内容の詳細は裏面をご覧ください。



【申込方法】

11月11日(金)より受付開始。メール・電話・FAXまたは右の2次元コードで、氏名(フリガナ)、
住所、電話番号をご記入の上、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ「地域課題講座」担当へ

TEL: 045-232-9544 FAX: 045-242-0897 email: minami-kouza@yoke.or.jp



お申込みは
こちらから

お問い合わせ みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ TEL: 045-232-9544

【講座の目的】

災害が多い日本では、南海トラフ大地震・首都直下型地震、富士山噴火などの大規模な災害が予想され、このような大災害の際には、自助と共助の重要性が叫ばれています。この講座では、防災の専門家により、災害に対する正しい理解や備えについて学び、本当の災害がやってきたときに自分や家族、地域を守るための知識を身に付けます。さらには、参加者が近隣や地域の防災活動に参加する意欲や機会につながることを目指しています。

第1回

「南区の災害リスクと避難について」

横浜市行政地図情報提供システムなど、ウェブ上で見ることができるマップを使い、南区の災害リスクについて学びます。また、避難方法について専門家による話を聞き、正しい理解を得ます。

第2回

「過去の災害から学び、自らの備えと地域防災を考える」

過去におきた大震災の中から、南区の被害想定に類似すると思われる、倒壊と火災被害が顕著だった阪神・淡路大震災を例に災害被害状況などを知る機会とします。また、災害が発生したときに、まず自分自身の身の安全を守る「自助」、地域の人たちが協力して助け合う「共助」の重要性を学びます。

第3回

「大地震をシミュレーションしよう！ ～地域の安全を考える～」

講座参加者各自が地図を使い、避難路を考える訓練を行います。また、地域でどんな防災対策が行われているのか事例をあげ、様々な取り組みを紹介します。



FAX参加申込書

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ 苑
FAX: 045-242-0897

氏名 (フリガナ)			
住所			
電話番号		E-mail	

お預かりした個人情報は、当講座に関するご連絡やご案内のみに使用させていただきます。

利用者のつどい

みなみラウンジの利用者との交流を図り、活動の輪が広がることを目的に利用者のつどいを開催しました。今回初めての試みとして、市民活動団体に加え、街の先生も交えた交流を行い、活発な話し合いを行うことができました。

- ・日 時 7月30日、10月8日(土)(全2回) 14時～15時30分
- ・会 場 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・参加者 【第1回】22人、【第2回】16人
- ・内 容 【第1回】活動発表&交流会
活動発表会
 - ・市民活動団体3団体
泉の会、WE21 ジャパンみなみ、南区食生活等改善推進委員会
 - ・街の先生3名
青木さん(合気道)・手老さん(フラワーアレンジ)
山田さん(韓国茶会)

【第2回】研修「強くあたたかい組織・コミュニティのつくり方」

講座：「強くあたたかいコミュニティづくりとは？」

講師：CRファクトリー 高橋さん

<参加者の声>

- ・新しい人が入ってきたときに、気をつける点(フォローしたい点)がまとまっていたので良かった。
- ・ふだん抱えている問題をまんべんなく挙げて頂けたように思います。一つ一つチェックしてみる機会を与えて頂けたように思います。実際の活動の話を生で詳しく聞けた。
- ・説明とワークショップのテンポが良かったです。
- ・他団体の話しを聞いて良かった。



多文化共生のための事業「日本語ボランティア」人材育成

外国人市民の多い南区では、誰もが豊かに暮らせる多文化共生の地域づくりを目指して日本語教室を行っています。併せて、ボランティア人材を発掘し育成を行っています。

●日本語ボランティア入門講座

- ・日 時 10月5日、12日、19日、26日、1月2日（水）（全5回）
13時30分～15時30分
- ・会 場 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・参加者 【第1回】19人【第2回】15人【第3回】16人【第4回】15人
【第5回】21人
- ・内 容 南区に住む外国人への日本語支援のための基礎知識を学ぶ講座

●日本語ボランティアブラッシュアップ講座

「オンラインによる日本語学習支援に挑戦しよう！」

- ・日 時 2月5日、2月19日（全2回） 10時～12時
- ・会 場 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・参加者 【第1回】17人 【第2回】16人
- ・内 容 「オンラインによる日本語学習支援を」の学習素材を使って、自分のスキルアップを図る。素材の使い方。ワークでお互いに意見を出し合いました。



日本語ボランティア入門講座

地域の外国人と交流しながら日本語習得のお手伝いをする初めの一步を踏み出してみませんか。南区の日本語教室では一緒に活動する仲間を求めています。とはいえ、日本語ボランティアってなあに？日本語習得のお手伝いっていったいどんなことをするのか？などわからないことがたくさん！！外国人が難しいと思う日本語の特徴や教室の活動について学んでみませんか。日本語教室のボランティアさんとの交流もあります。日本語教室の雰囲気やどんな学習者がいるのかなど直接お話を聞いてみましょう。

- ◆ 日程：10月5日（水）、10月12日（水）、10月19日（水）、10月26日（水）、11月2日（水） ※ 講座中、教室見学ができます。
- ◆ 時間：13：30～15：30
- ◆ 場所：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ 研修室
- ◆ 講師：有田玲子氏（東京にほんごネット代表）
- ◆ 主催：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ



スケジュール

※ 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によりオンラインでの開催になる場合があります

回	日程	内容	講師
1	10月5日	・南区の現状 ・南区にある日本語教室の紹介 ・日本語ボランティアってなあに？	みなみラウンジ 有田玲子氏
2	10月12日	・日本語っておもしろい ～外国人にとって難しい日本語の特徴～	有田玲子氏
3	10月19日	・やさしい日本語ってなあに？	
4	10月26日	・いろいろな教材を見てみよう	
5	11月2日	・講座の振り返り ・これからの活動に向けて 参加者：有田氏、受講者、日本語教室のボランティア	

対 象：原則、南区で日本語ボランティアとして活動する意思がある方、または、活動している方で全回参加できる方。

定 員：25名（先着順）

参加費：無料

申込は裏面参照

2022 年度 日本語ボランティア ブラッシュアップ講座 ～どんな教材にも使える教室活動の工夫～



日本語ボランティアを始めただけだと教室の活動ってどうしたらいいの？ 対話や会話を意識するとただ話しているだけになってしまう。文型はどこまで意識したらいいの？ など迷ったりしていませんか。今回のブラッシュアップ講座では、地域の教室で使いやすい「にほんごこれだけ」を使って教室活動を組み立てたり、文型積み上げ式のテキストでも学習者と楽しめるアイデアを考えたりします。

☆ 日程：2023年2月5日（日）、2月19日（日）

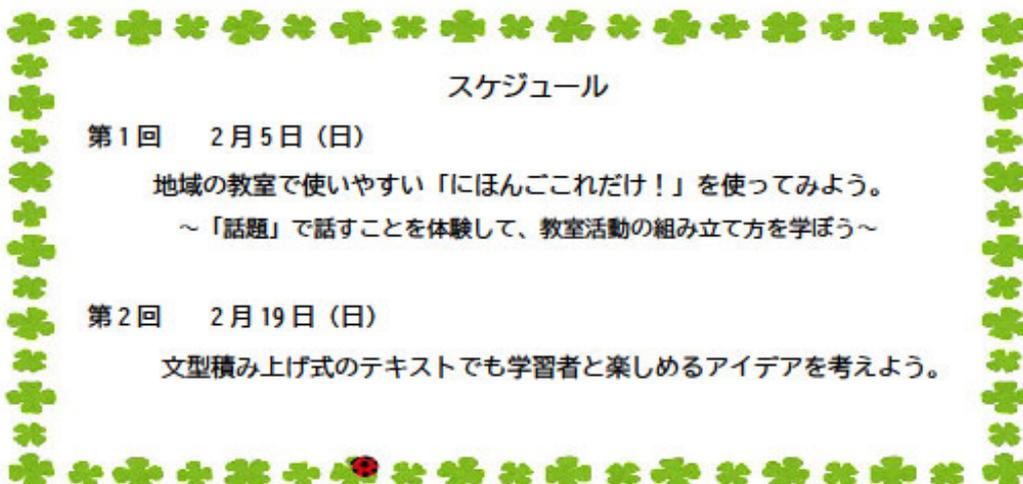
☆ 時間：10:00～12:00

☆ 場所：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ 研修室

※ 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によりオンラインでの開催になる場合があります。

☆ 講師：有田玲子氏（東京にほんごネット代表）

☆ 主催：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ



スケジュール

第1回 2月5日（日）

地域の教室で使いやすい「にほんごこれだけ！」を使ってみよう。
～「話題」で話すことを体験して、教室活動の組み立て方を学ぼう～

第2回 2月19日（日）

文型積み上げ式のテキストでも学習者と楽しめるアイデアを考えよう。

対 象：原則、南区で日本語ボランティアとして活動している人で全回参加できる人、または、
南区の日本語ボランティア入門講座に参加した人で全回参加できる人

定 員：20名（先着順）

参加費：無料



申込は裏面をご覧ください

多文化共生のための事業「青少年ボランティアプログラム」

外国につながる青少年が、地域社会でボランティアとして活躍できるように、地域社会へ参加できる機会を設け、地域との交流を支援することを目的にしています。今回は、南吉田小学校放課後キッズのイベントに参加しました。

●外国籍等の青少年の交流・支援ボランティアプログラム

- ・日 程 7月23日、8月2日、10日、16日、24日（全5回）
- ・参加者 外国につながる高校生（10名）
- ・内 容 南吉田小学校放課後キッズクラブと連携し、子ども達が喜ぶゲーム5種目を高校生が企画・準備制作し、放課後キッズクラブの夏休みイベントを行い子どもたちと交流しました。
 - 第1回：7/23(土) オリエンテーション
 - 第2回：8/ 2(火) 南吉田小学校放課後キッズクラブ見学&企画
 - 第3回：8/10(水) イベント準備・本番リハーサル
 - 第4回：8/16(火) イベント開催 南吉田小学校放課後キッズクラブ
 - 第5回：8/24(水) 振り返り

<高校生ボランティアの感想>

- ・とにかく楽しかった (very fun) です。
- ・子どもが可愛いく楽しかったです。いっぱい話せました。
- ・協力しあえて、5つのゲームをやりきりました。
- ・これからも、こういった機会があれば参加したいです。



もぐらたたき



ボーリング



福笑い



射的

みんなの「わっ！」フェスタ

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジに登録し、活動している市民活動団体や、街の先生、ボランティアによる日頃の活動の発表の場と交流の場として開催しています。活動者によるワークショップに参加体験することができ、さらなる活動の輪を広げようと毎年開催する多文化的なお祭りです。令和4年度は、例年通りのイベントを開催することができました。

また、日本語スピーチ発表を、各日本語を学ぶ教室から参加者を募り、自撮りした動画を12月10日よりホームページで発表しました。

- ・日 時 11月20日（日）（各講座：60分）
- ・会 場 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・参加団体
 - ・市民活動団体（3団体）
 - ・多文化ステージ（2団体）
 - ・多文化特別プログラム（1人）
 - ・街の先生（3人）

【ワークショップ】（街の先生、市民活動団体、多文化共生ボランティア）

No	ワークショップタイトル	講師	申込数
①	多文化：本場インドヨガ体験	Sharrma Arrpann さん	12人
②	市民活動：知的障害ある人ってどんな気持ち？	泉の会：伊藤里香さん	8人
③	街の先生：バランスボールで楽しいエクササイズ	大野邦子さん	10人
④	市民活動：やさしいロープワーク	南区災害ボランティアネットワーク：手代木洋さん	12人
⑤	市民活動：アロハ・ヒーリング・ヨーガ	GAP かながわ：福原仁美さん	8人
⑥	街の先生：好きな絵柄を焼きつける食器作り	深谷住江さん	16人
⑦	多文化：タイ伝統舞踊を踊ってみよう！	水野タネス&サクライサイトンさん	9人
⑧	街の先生：紙芝居師体験	たちつて☆トミーさん	7人
⑨	多文化特別プログラム：劉晋陽二胡鑑賞会	劉 晋陽さん	11人
	合計		93人

【日本語教室学習者による日本語スピーチ】（動画放映）

- ・日 程 （館内放映） 11月20日（日）～12月17日（土）
（HP掲載） 12月10日（土）～
- ・参加人数 9人



アロハ・ヒーリング・ヨーガ



バランスボール



ロープワーク



インドヨガ体験



焼きつける食器作り



タイ伝統舞踊



劉晋陽の二胡鑑賞会



紙芝居師体験

みんなの「わっ!」フェスタ2022

「みんなの『わっ!』フェスタ」は、みなみラウンジで活動している市民活動団体、街の先生、多文化共生ボランティアのみなさんによる日ごろの活動の発表の場です。今年は活動者によるワークショップと日本語教室学習者による日本語スピーチ（動画配信）をします。特別プログラムとして二胡の鑑賞会もあります。ご参加お待ちしております。

参加者大募集

ワークショップ

楽しいワークショップにぜひ参加ください。
お申込みは裏面へ!

2022/11/20 (日)

街の先生

特別プログラム



- バランスボールで楽しいエクササイズ
- 好きな絵柄を焼きつける食器作り
- 紙芝居師体験



市民活動団体

- アロハ・ヒーリング・ヨーガ
- 知的障がいのある人ってどんな気持ち?
- やさしいロープワーク



多文化共生ボランティア



- 本場インドヨガ体験
- タイ伝統舞踊を踊ってみよう!



劉晋陽の
二胡鑑賞会

日本語スピーチ発表 12/10 (土) からみなみラウンジホームページにて公開します!

- IEみなみ日本語教室/ガヤティリ、チャン ホアン ロン、ジェフ ヴー クオア、曹曦(そうぎ)
- みなみVクラブ/盧媛(ろえん)
- たぶんかフリースクール/木暮茂雄、王嘉翔(おうかしょう)
- 楽しい日本語の会/ティック、陳
- あい・にほんごクラブ/未定

「みんなの『わっ!』フェスタ」
特設サイトをご覧ください



中国・インド・ベトナム・マレーシア出身の11名の学習者が日本語スピーチを発表します。お楽しみに!



みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

秋の一日、「みんなの『わっ!』フェスタ」のワークショップでいろいろな体験をしてみませんか

参加者
大募集

見る 知る 考える 体験する

11/20
(日)

1

本場インドヨガ体験

ヨガの基本、「太陽礼拝」のポーズで本番のヨガを体験しましょう!

時間:10:00~11:00
場所:研修室1
多文化共生ボランティア:
Sharma Arpann
募集人数:15人
参加費:無料



2

知的障がいのある人ってどんな気持ち?

障がいのある人の気持ちを感じ疑似体験をし、災害時の助け合いを考えます。

時間:10:30~11:30
場所:多目的室
団体:「障害者の味を考える会」泉の会
募集人数:15人
参加費:無料



3

バランスボールで楽しいエクササイズ

「鍛える」のではなく、「普段の生活がスムーズにラクになる」エクササイズです。運動が苦手、久しぶりの方、大歓迎!

時間:11:30~12:30
場所:研修室1
街の先生:大野邦子
募集人数:10人
参加費:500円



4

やさしいロープワーク

基本的によく使われるのロープの結び方、縛り方を何種類か体験できます。キャンプでも役立ちますよ!

時間:12:00~13:00
場所:多目的室
団体:南宮災害ボランティアネットワーク
募集人数:小学生以上20人
参加費:無料



5

アロハ・ヒーリング・ヨーガ

いすに座って行きます。体が柔らかなくても大丈夫。リラックスして、コロナ渦で疲れがちな心と身体を癒しましょう!

時間:13:00~14:00
場所:研修室1
団体:NPO法人CAPかながわ
募集人数:20人
参加費:無料



6

好きな絵柄を焼きつける食器作り

白い器に好みの絵柄の転写紙をデザインして貼ります。後日、電気炉で焼き付けたものをみなみラウンジでお渡しします。

時間:13:30~14:30
場所:多目的室
街の先生:深谷住江
募集人数:15人
参加費:500円



7

タイ伝統舞踊を踊ってみよう!

優雅で繊細な指や腕の動きが特徴的なタイ舞踊を体験してみませんか。

時間:14:30~15:30
場所:研修室1
多文化共生ボランティア:
水野タナ&
サクライ サイトン
募集人数:7~70歳10人
参加費:無料



8

紙芝居師体験

拍子木を打ち「さあ、紙芝居の始まり始まり!」。紙芝居を読む体験をします。

時間:15:00~16:00
場所:多目的室
街の先生:たちつて☆トミー
募集人数:10人
参加費:無料



9

特別プログラム

りゅうしんよう
劉晋陽の二胡鑑賞会

中国出身のプロの二胡奏者による演奏会。優雅な調べをお楽しみください。

時間:16:00~17:00
場所:研修室1
募集人数:20人
参加費:無料



申込み方法

①氏名②電話番号③年齢④希望のワークショップ名と番号を書き、メール・TEL・FAX または Google Formsにて下記までお申込みください。

受付:10月11日(火)より(先着順)

参加者には、詳しい持ち物等をご連絡いたします。

【申込み・問合せ】 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

電話:045-232-9544 FAX:045-242-0897 e-mail: minami-kouza@yoke.or.jp

※お預かりした個人情報、当講座に関するご連絡や案内のみに使用させていただきます。
※感染状況によってはオンラインで開催の可能性もあります。

Google Formsでの
お申込みは
こちらから



多文化共生コミュニティづくり「みなつなプロジェクト」

外国人住民が急増している寿東部地区を中心に、日本人住民と外国人住民双方に寄り添い、相互理解をすすめ、ともに暮らしやすい多文化共生の地域づくりに取り組んできました。

【第1回】やさしい日本語講座

日時：8月23日（火）14時～

会場：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

内容：外国人比率が20%を超える町内会があるような外国人集住地域である寿東部地区において、外国人とのコミュニケーションをどのようにすればよいかという課題が上がっています。課題に向けた取り組みの一つとして「やさしい日本語」という手法が考えられており、ホスト社会の住民を主な対象に「やさしい日本語」について学ぶ場を設けました。「やさしい日本語」の由来、使い方、効果について学びました。

参加者：12人



【第2回】横浜市民防災センター体験

日時：10月20日（木）13時30分～

会場：横浜市民防災センター

内容：関東大震災・阪神淡路大震災の体験
消火器の使い方紹介および練習
トレーニングルーム中での模擬体験

参加者：5人



【第3回】おうちで心がける防災ワークショップ

日 時：10月31日（月）14時～

会 場：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

講 師：横浜市消防局職員（大本さん、市川さん）

内 容：擬似体験をもとに防災のために心がけることについての話し合いをしました。地震・火災体験ツアーの振り返りと、避難・備蓄・防災バッグ・家族との連絡手段など再確認し、地域で共に防災力を身につけ、自宅で心がける防災について学びました。

参加者：8人

<参加者の声>

- ・ブレーカーを避難するときに落とすことを知った。
- ・消火器も使い方をわかっている気がしていたが、実際の場面ではなかなかできない。体験することの大切さを知った。
- ・インドネシアでは地震はあまりない。体験出来て良かった。
- ・上から物が落ちてこないところに逃げることを学んだ。
- ・町内の防災訓練に消防に来てもらい、話してもらうことは可能か。



みなつなプロジェクト

いのち まも ぼう さい たい けん 命を守る防災体験

100年に一度の大地震はいつ起きてもおかしくありません。災害時の備えは大丈夫？防災センターでは震度7の地震がどのくらい揺れるか、横浜はどんな様子になるのかを体験できます。地震の時の死者の7割が火災によるって知ってますか？火災の時どんなことをすれば命を守れるか、体験しておけば、命を救えるかもしれません。地域の日本人と外国人と一緒に防災体験し、知識を学び、おうちでできる防災について考えましょう。

(1) 横浜市民防災センター体験ツアー

日時: 2022年10月20日(木) 13:30~14:30

場所: 横浜市民防災センター

内容: 地震・火災体験ツアー60分

(阪東橋~横浜の往復交通費はラウンジが負担します)

※当日12時45分に阪東橋改札口で集合

(2) おうちで心がける防災について話し合う

横浜市民防災センターで体験した感想、学んだことを、これからどのようにいかしていくか、日本人と外国人が一緒におはなします。

日時: 2022年10月31日(月) 14:00~15:30

場所: みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ 研修室

内容: おうちで心がける防災についての話し合い

定員: 2日とも参加できる方20名(先着順) 費用: 無料

申込み: みなみラウンジへ電話・メールで

☎045-232-9544 ☒ minami.shimin.act.c@jcom.home.ne.jp

申込開始!



みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

「みなつなプロジェクト」はみんなであつながる、みなみ区であつながるをかけあわせ、「みんなで仲よく暮らしていこう」という願いが込められた名前です。

南永田団地多文化交流会サポート

UR 都市機構と連携し、地元のコミュニティづくり活動をしている NPO 法人「永田みなみ台ほっとサライ」の国際交流イベントに協力しました。当日はモンゴルの料理の提供、フィリピンの伝統遊び、中国の二胡演奏が行われ、外国の文化に触れながら住民どうしの交流が図られました。

●南永田団地多文化交流会

主 催：永田みなみ台地区社会福祉協議会、NPO 法人永田みなみ台ほっとサライ

UR 都市機構、UR コミュニティ

日 時：令和 4 年 9 月 25 日（日）10 時 30 分～13 時

会 場：南永田団地 1 号棟前広場・サロンほっとサライ

対象者：南永田団地にお住まいの方

参加者：約 40 人

内 容：二胡演奏会

フィリピン伝統遊び SIPA ゲーム体験

モンゴル料理

（南永田団地に住むモンゴル人の方が作ったモンゴル料理を交流サロンで提供）

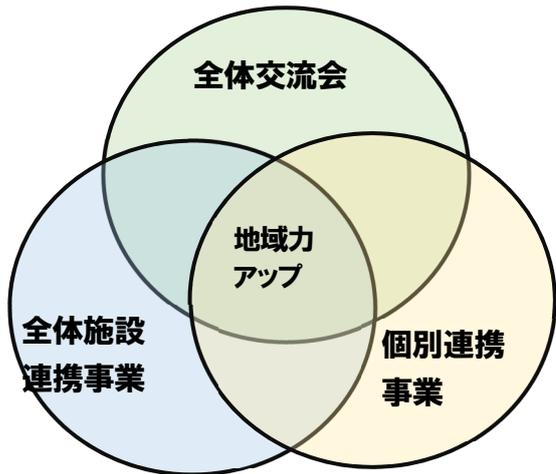


まるごとみなみ施設間連携事業

まるごとみなみ施設間連携事業

地域の課題やニーズが多様化、複雑化している中で、区内の公共施設が持つ情報を共有し、それぞれの機能や人材を活用し、地域の課題解決や魅力ある地域づくりに向けた活動を行うために、施設間が連携するための取り組みとして実施しています。

【「まるごとみなみ」(施設連携事業)の考え方】



●全体交流会

- ・施設の担当者同士の「顔の見える関係づくり」
- ・課題解決のヒントを得られる場
- ・各施設間の情報、事業内容の共有

●個別連携事業

単館では、出来なかった企画を2～3施設の連携により実施。スケールメリットや新しい参加者の掘り起こし等を行い、地域の課題解決や地域力のアップを目指します。

●全体施設連携事業

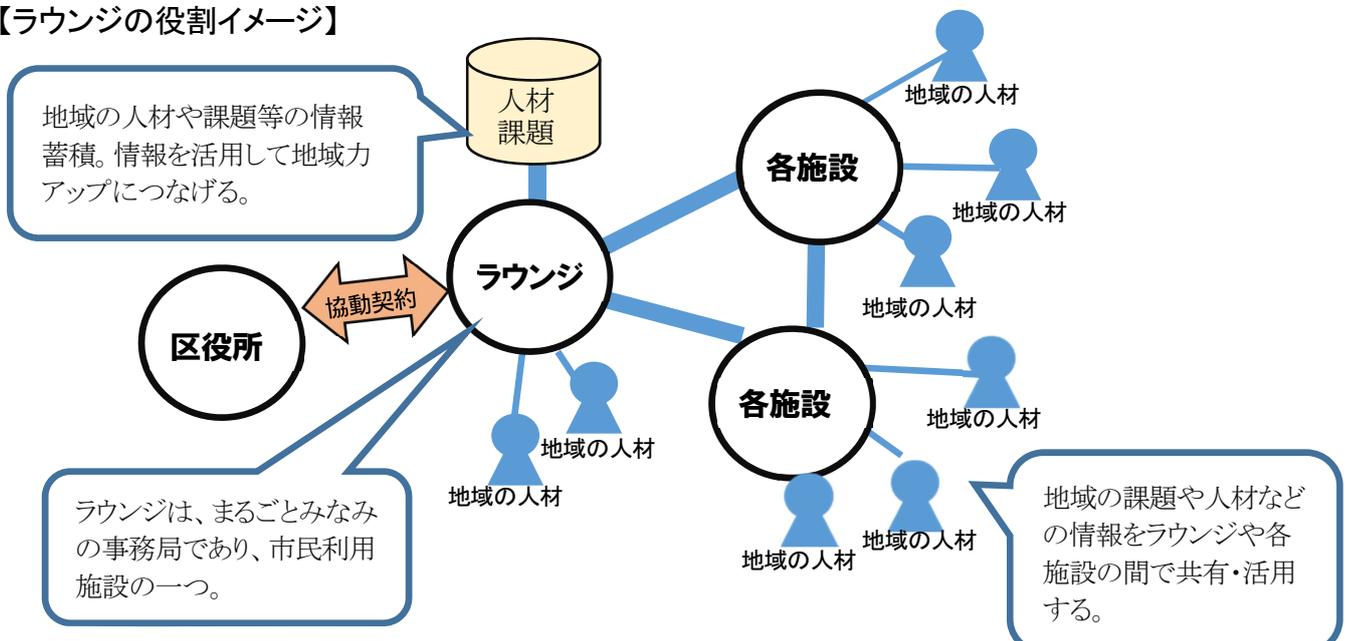
施設間連携の成果を発表する場や地域人材をクローズアップする場として実施します。

【みなみ市民活動・多文化共生ラウンジの役割】

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは「まるごとみなみ」の事務局として、区役所とともに、地域の身近な課題や情報を施設間で共有するための会議やワークショップの企画などを行います。

区役所とラウンジは、協働契約による委託・受託の関係にあり、様々な課題に対して、2者間で協議し解決を図る関係にあります。

【ラウンジの役割イメージ】



令和4年度 第1回全体交流会

- ・日時 令和4年6月15日（水） 14時～15時30分
- ・会場 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・参加 15施設
- ・内容 テーマ「連携について考える」
 - ・区役所から 「施設連携について」
 - ・市民局から 「地域の活動支援に向けた施設連携」講座：～多分野をつなぐコレクティブインパクトの事例から学ぶ～
「やって良かった！」と思える連携・協働のコツ
講師：阿部 剛 氏（NPO法人CRファクトリー 理事）
 - ・違った立場の人たちが連携・協力することで、どのような価値を生み出すことができるのか、事例を通して理解を深める
 - ・連携・協力することの意味
 - ・コレクティブインパクトから学ぶ連携のコツ等



<参加施設の声>

- ・久しぶりに対面での交流会に参加でき、色々な施設の方と意見交換でき、大変有意義でした。
- ・昨年度末のまるごとみなみのアンケートのやりたい項目の中で、具体的に地に足の着いた協働・連携・協力ができれば良いかと思いました。
- ・大変具体的で、わかりやすい内容でした。協働・連携ありきでなく、地域支援のために、何をすべきか「逆算」が大切と改めて感じました。
- ・松戸プロジェクトはとても興味深いと感じました。さまざまな機関の視点、特学術的なデータの裏づけは必要かなと思いました。

令和4年度 第2回全体交流会

- ・日時 令和4年9月6日（火） 15時～17時
- ・会場 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・参加 17施設
- ・目的 必要な情報を限られた時間で簡潔に説明する技術を学ぶ
- ・内容 テーマ「伝わる話し方」を学ぶ

講師 宮原 裕美氏（株式会社パソネット 主任講師）

1. コミュニケーションとは
2. わかりやすい話し方のポイント
3. 説明力を向上するには
4. プレゼンテーションとは
5. 内容の組み立て方のポイント
6. プレゼンテーションの三原則
7. 情報をビジュアル化する

プレゼンテーションについて学び、実習として各施設の特徴を一人ずつスピーチを行いました。



<参加施設の声>

- ・大勢の前で話すのが苦手だったが、ポイントを知れて活かせそうだと思います。
- ・施設窓口で利用者さんに説明する時に、この講座で学んだことを実践的に活かせると感じました。
- ・様々な年代の方と接する機会が多いので、相手に合わせた話し方をするのに役立つ内容でした。
- ・同じグループの方のスピーチを聞かせていただき、参考になることがとても多かったです。

令和4年度 第3回全体交流会

- ・日時 令和5年2月21日(火) 15時～17時
- ・会場 みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
- ・参加 12施設
- ・内容 テーマ「各施設プレゼンテーション&全体交流会」

【第1部】 各施設のプレゼンテーション

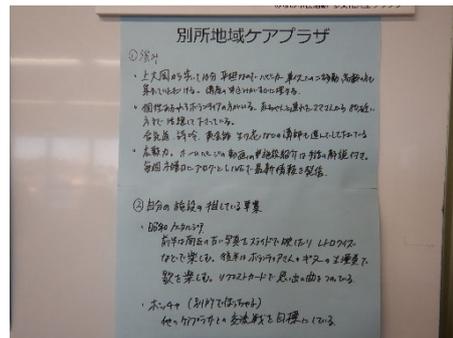
第2回で学んだプレゼンスキルを活かして、下記の3項目を2分間で簡潔に説明した。

- ① どういう施設か
- ② 今どういう事業をしているか
- ③ 今後やりたい事業

【第2部】 施設の強みをPRしてみよう！

スピーチに関連する以下の事項を紙に箇条書きで3点記し、ホワイトボードに貼った。互いに情報を共有し合うことで、施設間連携の足掛かりとなった。

- ① 自分の施設の強み
- ② 自分の施設の押してる事業
- ③ やりたい事業など



【第3部】 情報交換会

Q:集客の多かったイベント、これは良かったというイベントは？

4施設が、かなりの集客があったイベント事業について紹介。
どういう内容で広報はどのように行ったのか、効果的だった方法などを紹介
900人の集客があった施設があったなど。

Q:自主事業を行う上での工夫や問題解決例などあれば聞きたい
また、それぞれの施設の魅力発信例などは？

身近に感じている疑問などをゲーム、クイズ、グループワークを取り入れながら進めることで、参加者が楽しんで問題を考えられる。南区に特化した統計などを発表したのが好評。

有料にした方が、集客がある。

ボランティア(ママさん、ドライバー、利用者)20名の協力があつた

Q:お祭りのイベントがなくなり、利用者の作品を発表する場所がなくなり
発表展示できるところを探している

区のギャラリーでの展示もできる。地区センターでの展示はどうか。

<参加施設の声>

- ・ふだん会う機会がない施設の方々と対面で気軽に話が出来て良かった。
- ・他の施設の役割や実施されている内容がよくわかりました。
- ・各施設の事業内容や今後のやりたい事業など紹介する場があり、今後の連携事業を考える上で大変参考になりました。
- ・いくつかの施設と具体的な連携を進めようと思います。
- ・南区の連携事業の思いは素晴らしい、各施設の見学ができると連携事業案が思い浮かべやすいのでは？



【まるごとみなみ施設間連携事業の経過】

○施設間連携の動機付けとして3か年に渡り研修を実施

- H25 「あらたな人材発掘・育成事業 スキルアップ研修、地域活動キッカケ講座」
- H26 「南区内施設の連携を目指して」
- H27 「南区施設の連携をめざして～今年は実践、座学から実学へ」

○具体的な施設連携事業を検討・実施

- H28 ①全体会 ②個別施設間連携 ③全体連携「スタンプラリー」
- H29 ①全体会 ②個別施設間連携 ③全体連携「スタンプラリー」
- H30 ①全体会 ②個別施設間連携 ③全体連携「スタンプラリー」

○H28～30の実績をふまえて、施設連携事業を発展・実施

- R1 ①全体会 ②個別施設間連携 ③全体連携「体験広場」
- R2 ①全体会 ②個別施設間連携 ③全体連携「施設紹介動画」
- R3 ①全体会 ②全体連携「完成 PR 動画モニターで放映」パネル展示